

# B-ing

## 永久保存版

運命の転職 12人の物語  
迷える会社選び スッキリ解決チェック

求人特集

●「ありがとう」と感謝される仕事

特別定価

100円

ビーイング 4.2 2008 No.15 水曜日発売

# 転職する

# すべての人に。

——  
最終号

RECRUIT



その選択が、彼らの新たな可能性を開いた

# 運命の転職 12人の物語

今の仕事をこの先も何十年と続けていくことに、何がしかの違和感を抱いている人は、少なくないのではないのでしょうか。

その違和感に気付かないふりをせず、正面から向き合い、

勇気を持ってもう一つの道を選択した人たちがいます。

彼らは、自身でさえ気付いていなかった能力や適性を発見し、才能を開花させました。そして口々にこうつぶやくのです。

「仕事とは、こんなにも楽しいものだったのか」。

運命の仕事を手繰り寄せた12人の声に、耳を傾けてみてください。

取材・文／須田忠博、国府田昌史、堀川陽子 撮影／平山 諭、新井啓太



## 運命の転職 12人の物語

次に考えたのは、社会保険労務士、経営者として従業員のために専門知識を生かして働く仕事ととらえたのだ。資格試験に合格し、実務に就くための講習も受けた。アルバイトをしながら2年

入社したのは、J A V Aでの開発を得意とするコガソフウェアだった。入社当初はプログラミングの知識もなく苦労したが、その後はプログラマ、

### 理想的と思える 企業モデルに心酔

1976年生まれ。中央大学商学部卒業後、大手消費者金融に1年勤務。進学を間違った公務員試験に挑むも、最終段階で不採用。その後、社労士試験の受験勉強。資格取得後の実務講習で約2年、2003年3月、今の会社に入社。未経験で入社。2007年8月から現職。



【転職前】  
嫌なことでも  
やらねばなら  
ないのが仕事

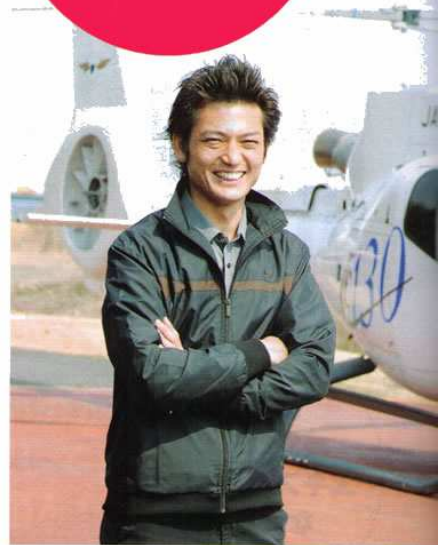
【転職後】  
正しいと信じて  
打ち込めてこそ  
仕事

【転職前】

生活のために  
不本意な仕事を  
受け身でこなす

【転職後】

夢をかなえる  
ため積極的に  
仕事に取り組む



03

消費者金融から紆余曲折を経て  
システム開発会社に転職した

コガソフウェア  
人材開発課リーダー  
羽田淳史さん(31歳)

## 愛社精神を社内 に浸透させたい。 今の会社だから強く そう思える

利益優先の考えになじめず  
公務員を目指した

羽田さんは新卒で大手の消費者金融会社に入社した。顧客とじかに接しながら、彼らの役に立てる仕事だと考えたからだった。ところが、支店勤務が始まると、その思いは砕かれてしまう。「とにかく利益優先で、人の役に立つという雰囲気ではなかった。すべてマニュアル化された接客法にもなじみませんでした。就職活動時にもっと調べておけばよかったと後悔しました」

だったが、採用が内定した社労士事務所  
の所長から、意外な話を聞かされた。  
「君はまだ若い。中小企業の社長と対  
等に渡り合って、彼らから信用される  
自信があるのかと聞かれたんです。当  
時26歳。自信はないと正直に答えたら、  
それなら3〜4年、中小企業で実務を  
経験してから社労士業務に就きなさい  
と諭された。確かにその通りだと思  
いました」

こうして再び転職先を検討した。着  
目したのはIT関連の会社。労務管理  
にシステムの知識は必須だから、開発  
実務を経験してみようと考えたのだ。

SEとして順調に成長。顧客企業に常  
駐し、リースや給与計算、資金管理など、  
それまでに蓄積した知識が生かせるシ  
ステムの開発も担当できた。その中で、  
技術を武器に仕事をして顧客から感謝  
されることの喜びや、仕事を認められ  
れば顧客との関係も良好になることを  
知った。

現在は本社へ戻り、新人教育や人事  
の手続き、営業戦略の立案など幅広く  
担当している。そうして会社のことを  
知れば知るほど、羽田さんはその魅力  
に引き込まれていったという。  
「この会社では顧客満足度の向上と、  
社員が人間らしく生きられる労働条件  
の追求という、一見相反しそうな2つ  
の考え方が両立しています。また、技  
術を磨いた社員が一生懸命仕事をすれ  
ば、利益はあとから付いてくると考え  
ている。私はこの方針に心酔したんで  
す。だから、若い社員にも愛社精神を  
持ってほしいと願っています。それほ  
どの価値がある会社に巡り合えたこと  
が、私には驚きでした」

当時はまだ環境に配慮するという企業  
理念が社内の隅々まで行き渡っていた  
わけではなかった。特に会田さんが配  
属された店舗は、従業員のモラルが低  
く、意識改革も進んでいなかった。し  
かし、会田さんはそんな現実から逃げ  
ることなく、前向きに対処する。程な  
く着任した新店長とともに、先頭に立  
って体質の改善に着手。その結果、店  
舗の立て直しに成功するのだ。  
「新卒で入社した会社は1年もたらず  
して退職したので、絶対に同じことは  
繰り返したくない。それに、入社  
半年後くらいだったと思いますが、私

が担当したお客さまが、「あなたにお願  
いしてよかった」と涙を流しながら喜  
んでくださったことがあったんです。  
そのとき、何があるうこの会社で頑  
張っていくと覚悟を決めました」  
その後、会田さんは現店舗の責任者  
に就任。顧客が幸せになるにはどうし  
たらいいかを、日々考え続けている。